

第16回 日野市保育の質ガイドライン策定委員会 —要点録—

1 日時場所等

- (1) 日 時 令和7年7月8日（火）午後2時00分～午後4時00分
- (2) 場 所 日野市子ども包括支援センターみらいく実践連携活動室
- (3) 出席委員 井口眞美委員長、野原久代副委員長、
根津正孝委員、上原直実委員、木暮博委員
- (4) 欠席委員 佐藤道枝副委員長
- (5) 事務局 子ども部保育課保育政策係 飯野成路、堀口尚孝、筒井敬子、小野早苗

2 要点録

(1) 開会

(2) 日野市保育の質ガイドライン第1版について

第1版発刊・配布・一読していただいた中での意見について発表。

- ・ 職員に配布した。まだ1回しか見ていない。
今後、2版を考えるなら、内容を検討したほうが良い。
- ・ 幼稚園の園長からは、「反省が多い」と言われた。
- ・ 保護者支援、職員間の連携、支援の必要な子どもへの対応が、思った以上に内容として多かったの
でそう感じたのではないかと思う。
- ・ 内容が当てはまらないが、ほかの保育園の様子がわかって参考になった。
- ・ 参考にしてもらってそれぞれの園での工夫が見つけられるきっかけになっていくとよいと思う。
- ・ 振り返りシートを使って1期についてクラスごとに確認してもらった。
- ・ 新しい保育、子ども主体の保育なども出てきているのでそういった事例を考えていく場になってもよ
いのではないかと思う。
- ・ 実際に使っていくために内容の強化、バージョンアップが必要と思っている。
- ・ 食のこと、地域のことなどテーマで研修にも使えるが、賛否両論ありなどでも面白いと感じている。
- ・ 監査等もあるので大胆な発想での保育は、なかなか難しいが地域とのつながりが持てるとよいと思
う。
- ・ 大胆な保育内容やおもしろい課題が入ると読み進められていき、保育に広がりにつなげられる思う。
チャレンジページなど。
- ・ コロナの影響で地域交流が閉ざされて以来復活しない。
- ・ 安全な保育、クレームをもらわない、ケガさせない保育にとらわれて保育が広がっていかないと感じ
ている。

(3) アンケート調査について

- ・どのように活用されているかという点についてアンケートを取りたい。
- ・アンケートもってワーキングの会議は、無しとし、2回のアンケートを想定している。
- ・園の代表もしくは、ワーキンググループに参加した職員など1園1名の回答でお願いします。
- ・第1回目 ガイドラインについて…第1版を使用しているか？使用してみてどうだったか。

※園としてどうだったか？

7月末にアンケート受け付け、8月15日くらいに締め切り、9月2日の委員会にて、
集計結果報告

- ・第2回目 ガイドラインの活用例などもあったら教えてほしい。

1月中旬 受付 2月末 締め切り 3月 まとめ

- ・アンケートの内容について

第一回 事例のおもしろかったこと、改善点についてなども入れた。

第二回 活用方法、活用例などを具体的に答えてもらうようにした。

(4) 日野市保育の質ガイドラインの今後について ―アンケート調査を踏まえて―

- ・足りないところや全体を見てこうしていったほうが良いという広い視点で考えていく。
- ・幼稚園、認証、認可外の施設については安易を広げるか？エールについてはどうしていくか。
→子ども子育て支援会議にて幼稚園からもぜひ参加したいという声があった。(市内民間10園)
※代表者にて参加
→認証9園 認証・認可外の代表としていくつかの園に出てもらってもよいと思う。
- ・オール日野市として考えていく中で事例等については、広く依頼。(好事例について)
- ・今回新しく声をかける施設の職員が、保育園職員と一緒にディスカッションできるのかどうか不安。
→お互いの施設に理解をしていく場となつてほしい。つながりができるとよい。
日野市のすべての子育て施設が一つの方向を向けるとよいと思う。
- ・一つの事例についていろいろな施設での話をして学んでもらう機会とできればよい。
- ・就学に向けての子どものベース作り、何が必要か、引っ掛かりは何かなど検討できる機会になるとよい
- ・策定委員メンバー構成について
公立民間保育園各1名、公立私立幼稚園各1名、認可外を代表して認証保育園から1名
※年明けの会議には、出てもらったほうが良いのではないかと引継ぎを行う。
- ・予定日程
9/2・11/11 14:00 から委員会
1/13 新旧引継ぎ

(5) 閉会